

犯罪からの 立ち直りを支援する 地域社会づくり

参加費
無料

どなたでも
ご参加できます
※事前申込要

2021.1.22 

鯉城ホール(伏見ライフプラザ5F)
13:30～開場
14:00開始～16:30終了

プログラム

14:00～14:05 【開会挨拶】伊東 恵美子 ●名古屋市 副市長

14:05～14:25 【成果報告】伴走型入口支援事業の実績報告と成果・課題の考察
●名古屋市スポーツ市民局地域安全推進課

14:25～15:15 【講演】「福祉的支援による生きづらさの解消と再犯防止」

湯原 悦子 氏 ●日本福祉大学社会福祉学部 教授  湯原 悦子 氏

15:30～16:25 【パネルトーク】必要な支援を届けるために地域社会が果たすべき役割

<コーディネーター>

原田 正樹 氏 ●日本福祉大学 副学長

<パネリスト>

武藤 京子 氏 ●名古屋地方検察庁 刑事政策推進室長

杉本 浩起 氏 ●名古屋保護観察所 首席保護観察官

佐藤 良喜 氏 ●名古屋市社会福祉協議会 副会長

寺澤 雅代 ●名古屋市 スポーツ市民局長

山田 俊彦 ●名古屋市 健康福祉局長

<事例紹介> ①高齢事例 ②障害事例

岡部 昭子 氏 ●(特非)くらし応援ネットワーク 理事長
(名古屋市再犯防止推進モデル事業受託法人)



原田 正樹 氏

新型コロナウイルス
感染症対策に
ご協力ください

○当日37.5℃以上の熱のある方、体調のすぐれない方、同居家族や14日以内に会った人に感染が疑われる人がいる方は、来場をご遠慮ください。

○会場内ではマスク等の着用、咳エチケットの励行をお願いします。

○会場入室時の手指の消毒及び検温にご協力をお願いします。

定員 150名 ※事前にお申込みをお願いします。(申込み方法は裏面)

主催:名古屋市/協力:名古屋地方検察庁、名古屋保護観察所

お問合せ:名古屋市スポーツ市民局地域安全推進課 電話 052-972-3105

～開催にあたって～

名古屋市は、平成30年度から令和2年度にかけ、犯罪をした人のうち、高齢者や、障害を抱える人等への福祉的支援を行うモデル事業を実施しました。

犯罪をした人の多くは、司法手続を経て短期間で地域へ戻ってきます。彼／彼女らが地域社会で立ち直るためには、安定して生活できる住まいの確保や、仕事や居場所など自分が必要とされる場づくりのほか、信頼できる人間関係の構築などが大切です。

一方で、モデル事業で出会った対象者の状況を見ると、犯罪をした人は、問題や困り事に対して自ら周囲にSOSを出すことや、必要な支援を求めることができないケースも少なくありません。一人ひとりに真摯に向き合い、更生に向けて粘り強く支援する人の存在が重要であることが改めて見えてきました。

更生支援や福祉に従事する方を始め、本問題に関心を寄せる皆さまに理解・意識を深めていただき、積極的に行動していただけることが、罪を償い前へ進むようとする人たちの力になるものと考えています。

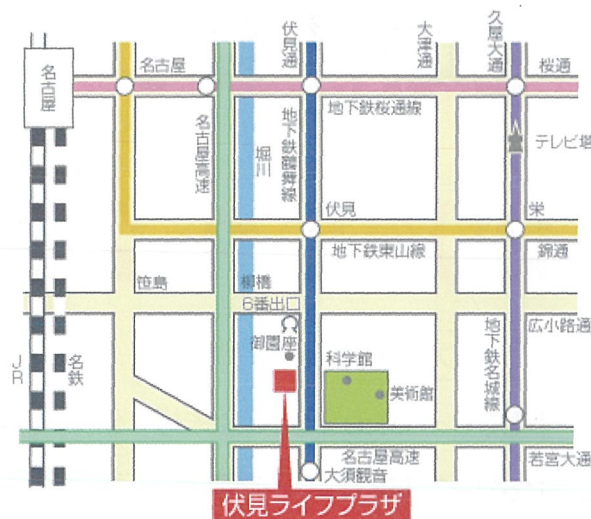
会場アクセス

鯉城ホール(伏見ライフプラザ5F)

名古屋市中区栄一丁目23番15号

- 地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」駅6番出口より南へ徒歩7分
- 地下鉄鶴舞線「大須観音」駅4番出口より北へ徒歩7分

※参加者用の駐車場はありませんので、必ず公共交通機関をご利用ください。



「名古屋市再犯防止推進モデル事業市民報告会」参加お申込み方法

下記申込書をFAXにて送付いただくか、必要事項を記載したメールにてお申込みください。
(定員超過でご参加いただけない場合はご連絡いたします。)

お申込み
期限

令和3年1/18(月)

お申込み
宛先

FAX

052-972-4823

メール

a3123@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp

※感染拡大防止の観点からやむを得ず開催を中止する場合、1週間前を目安に、お申込みいただいた方へご連絡いたします。
※申込み情報は、感染者が確認された際に保健センター等が感染追跡調査を実施できるよう、使用させていただく場合がございます。

「名古屋市再犯防止推進モデル事業市民報告会」参加申込書

ふりがな お名前	
ご住所 (職場住所でも可)	〒
ご所属・職名(あれば)	
ご連絡先 ※やむを得ず開催を中止する場合 等のご連絡を希望するものに☑ をご記入ください。	お電話: 中止時連絡先 <input type="checkbox"/>
	FAX: 中止時連絡先 <input type="checkbox"/>
	Eメール: 中止時連絡先 <input type="checkbox"/>
特記事項(あれば)	